在職者向け研修のご案内

能力開発セミナー

<事例で匠の工程方案を理解する>

鍛造工程設計におけるCAEの活用

▶セミナーの概要

成形欠陥の事前予測やプレス設備の検討、 金型寿命の予測など工程を検討する上では 鍛造シミュレータは有効です。本セミナーでは、剛塑性有限要素法を活用した加工中の 材料流動をシミュレーションする技術を習得 します。加工中の素材流動がどのように成形 欠陥につながるのか、工程におけるトラブル を鍛造シミュレータによって可視化したい方 におすすめします。

※1日7時間半のコースになります。

▶カリキュラム概要

1 日 目

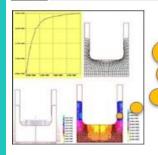
(1)解析の数理

- ・剛塑性有限要素法について
- ・工具と材料の表現方法について
- (2)解析の実際
 - ・工具・素材の定義法
 - ·工具速度条件、摩擦条件
 - 材料の定義
 - ・そのほか設定
- (3)解析の実際
 - ・素材流動速度による評価
 - ・鍛流線情報による評価
 - ・金型設計、工程検討への活用

2 目

(4)素材流動の把握

- ・前方、後方、前後方押出し
- ・据え込み
- ·背圧利用鍛造工程 等
- (5) 成形欠陥の把握
 - ・ひけ欠陥
 - ・巻き込み欠陥
 - ・割れ欠陥 等
- (6) まとめ



豊富な素材流動や不具合事例を用のシミュレーションを行います。

コース番号	TMA08
開催日	令和8年 1/29(木),30(金)
時 間	9:00~17:30(合計15H)
受講料	12,500円(税込)
会 場	東北職業能力開発大学校宮城県栗原市築館字萩沢土橋26
定員	10人 ※先着順
持 ち 物	筆記用具、電卓
使用機材	AutoCAD

申込締切日

<mark>コー</mark>ス開始日の**2週間前**

■ 受講のお申し込みは、受講申込書(裏面)に▼ 必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお送りください



お問い合わせ先

東北職業能力開発大学校 援助計画課

TEL:0228-22-6615 FAX:0228-22-2432

Mail:tohoku-college03@jeed.go.jp

